

桃咲く里

佐久市立平根小学校
学校だより12月号
令和6年12月20日
文責：教頭 酒井 直治

なかよし旬間

12月2日(月)から13日(金)までをなかよし旬間と位置づけ、仲良くすることの良さを感じたり、人権感覚を高めたりできるよう、数々の取り組みが行われました。

まず、慣例に基づき2年生が校内にいくつか設置してある仲よし郵便ポストに投函されたはがきを配達員となって各クラスに届けてくれました。事前準備では、はがきの書き方などについて各学年の教室へ連絡に行ったり、ポストの場所を確認して回収の分担を決めたりしました。そして、全校のために朝休みの時間に回収と配達をしてくれたので、心温まるメッセージのやりとりができました。

プレイタイムの時間には、全ての学年が入り交じった縦割り班に分かれ、協力してボールやフラフープをリレーしていく「なかよし運動」を楽しみました。次の人が受け取りやすくするために自分がどんな動きをしたら良いか考えながら取り組んでいました。また、「校内ウォークラリー」を行い、校長室前、イングリッシュルーム、図書館、放送室の4カ所に用意されたクイズを縦割り班で回りながら解いていきました。

12月6日(金)の参観日では、児童会役員による赤い羽根共同募金への呼びかけをしたり、道徳や人権に関する授業を実施したりしました。また、期間中に「ありがとうの花」を作成して友達への感謝を伝え合ったり、6年生が中心となって児童会主催の「スマイル祭り」を実施したりしました。スマイル祭りでは、楽しく工夫された7つのアトラクションがあり、高学年児童は交代しながら低学年児童が楽しめるよう運営してくれました。折り紙で作られた景品をもらった低学年児童が嬉しそうにしていたのが印象的でした。とても楽しかったので、下級生から6年生にお礼のメッセージを届けていた学年もありました。冬の寒さの中にも心温まる雰囲気校内に感じられる一時となりました。

地域の方に学ぶ

5年生が地域の方からしめ縄作りを教えてくださいました。自分たちで育てた稲の藁を使って、手ほどきを受けながら編んでいきました。最初は慣れない手つきで苦労していましたが、編んでいくうちにコツをつかみ、完成させることができました。

また、3年生から6年生まで書き初めの指導をしていただきました。今回、初めて書き初めをする3年生には講師の中島先生から筆全体を使って大きく字を書くことや平仮名によってきれいに書くコツがあること、はねのところに気をつけることを意識して楽しんで書いてほしいというお話をお聞きしました。

4、5年生をご指導いただいた講師の加藤先生がお手本の実演をされた際には、のぞき込んで真剣に書き方を見る子や、あまりの上手さに驚きの声をあげる子もいました。毛筆ならではの楽しさを感じながら新年のスタートがきれいといいですね。ご指導いただきました講師の先生方に感謝申し上げます。

